

資料2
船橋市の歯・口腔に関する課題と取り組み

(2) 船橋市の歯・口腔に関する課題と取り組みについて

令和4年度の協議会で挙げられていた 「取り組めていないこと・課題になっていること」

1. むし歯・歯周病予防

- ①フッ化物洗口事業の全市立小学校全学年での実施
- ②歯みがきの実技指導が困難
- ③各施設での食後の歯みがきの再開
- ④中学生の歯肉炎対策
- ⑤進行した歯周炎を有する人の割合が国や県より高い

2. 口腔機能維持向上

- ①乳幼児期、学齢期への口腔機能発達に関する情報提供
- ②地区活動の停滞により成人期・高齢期向けの健康教育依頼が減少

1. むし歯・歯周病予防

①全市立小学校全学年でのフッ化物洗口事業再開

令和5年度からの全校実施を目指し、令和4年度中に再開に向けての基盤を整える。

<通知>

▶R4.12.28 厚労省
「フッ化物洗口の推進に関する基本的な考え方」について
フッ化物洗口マニュアル(2022年版)

▶R5.1.6 文科省
「学校における集団フッ化物洗口について」

【取り組み内容】

- ▶R5年5月 小学校長宛に事業開始アンケート
- ▶職員対象の説明会を実施
- ▶R5年9月末現在、29校まで再開

【R4年度末実績】

26校／55校

開始月	学校数
6月	6校
7月	1校
9月	6校
10月	5校
11月	4校
12月	1校
1月	3校

＜フツ化物洗口事業の取り組み＞

平成22年度～平成24年度 モデル事業（保育園2園・幼稚園2園・小学校3校）
 平成25年度 検討委員会を立ち上げ、小学校の全校全学年での実施を目指すこととした
 平成30年度 全小学校54校（当時）での取り組みが達成
 令和2年度 子どもの貧困対策「親子のしあわせ応援プロジェクト」の推進すべき事業
 令和2年3月～令和3年9月まで中止。令和3年10月より事業再開。



※R3年度1校新設され、市立小学校55校となる

	平成26年度	～	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (9月末現在)
実施校数	10校		49校	54校	54校	コロナ禍にて中止	15校	26校	29校
実施クラス数	46クラス		422クラス	525クラス (49.1%)	681クラス (63.8%)		246クラス (23.2%)	440クラス (41.5%)	543クラス (51.3%)
実施人数	1,406人		12,310人	15,513人	20,189人		7,253人	12,746人	15,491人
1校での 最小実施学 年数	1学年 (5校)		1学年 (22校)	1学年 (17校)	1学年 (1校)		2学年 (1校)	1学年 (1校)	5学年 (3校)
1校での 最大実施学 年数	4学年 (2校)		全学年 (12校)	全学年 (13校)	全学年 (19校)		全学年 (14校)	全学年 (22校)	全学年 (26校)

(令和5年5月1日現在 小学校55校 1,058クラス 32,105人)

1. むし歯・歯周病予防

②③食後の歯みがきや実技指導を安全に再開できる方法の提案

歯みがき再開の目安について、医療関係者の協力を得て検討する。

保育園・幼稚園や学校に文書を送付する際に、歯みがきに代わる口腔衛生教育の提案も行う。

【取り組み内容】

- ▶R4年11月 給食後に歯みがきをしている8小学校の養護教諭に実施状況について聞き取り調査を実施
 - ・希望する児童が自主的に給食を終了した順に水道へ行き、密を避けながら歯みがき
- ↓
 - ・飛沫感染の予防は日常生活でも行っており、日本学校歯科医会のリーフレットを参考に行っている
 - ・担任と一緒にみがいて、注意をはらっている

R5年 1月 保健体育課より、養護教諭会にて状況報告。給食後の歯みがきの取り組みを依頼。

<給食後の歯みがき実施校数> 小学校55校(R1は54校)・中学校27校

小学校	ほぼ全員	約半数	少数希望者	実施なし	未記入	中学校	ほぼ全員	約半数	少数希望者	実施なし
R1	19校	22校	7校	4校	2校	R1	5校	6校	6校	10校
R4	3校	11校	21校	21校	—	R4	1校	—	12校	14校

▶R5年7月～

保育園・幼稚園歯科指導において、感染症対策を取りながら希望園に歯みがき実技指導を再開。

1. むし歯・歯周病予防

④永久歯列に生え変わる学齢期の健康教育《中長期的な取り組み》

学校関係者と連携して、むし歯予防に加えて将来の歯周病予防にもつながる小・中学生へのアプローチ方法を検討

★新たな取り組み★

学校等で利用できる動画やDVDなどの映像媒体の調査・提供

【取り組み内容】

▶学校での「歯科保健活動」の調査

・ライオン歯みがき大会参加

・口腔ケアグッズ試供品配布



<学校歯科医の取り組み>

・学校歯科医の講演

・児童が学校歯科医に質問

・歯科健診・歯科相談での個別指導

・学校保健委員会での助言・指導

・生徒が実態調査結果を集会で発表

・授業

▶卒業する6年生に配布している「歯肉炎予防」のパンフレットの内容をブラッシュアップして配布

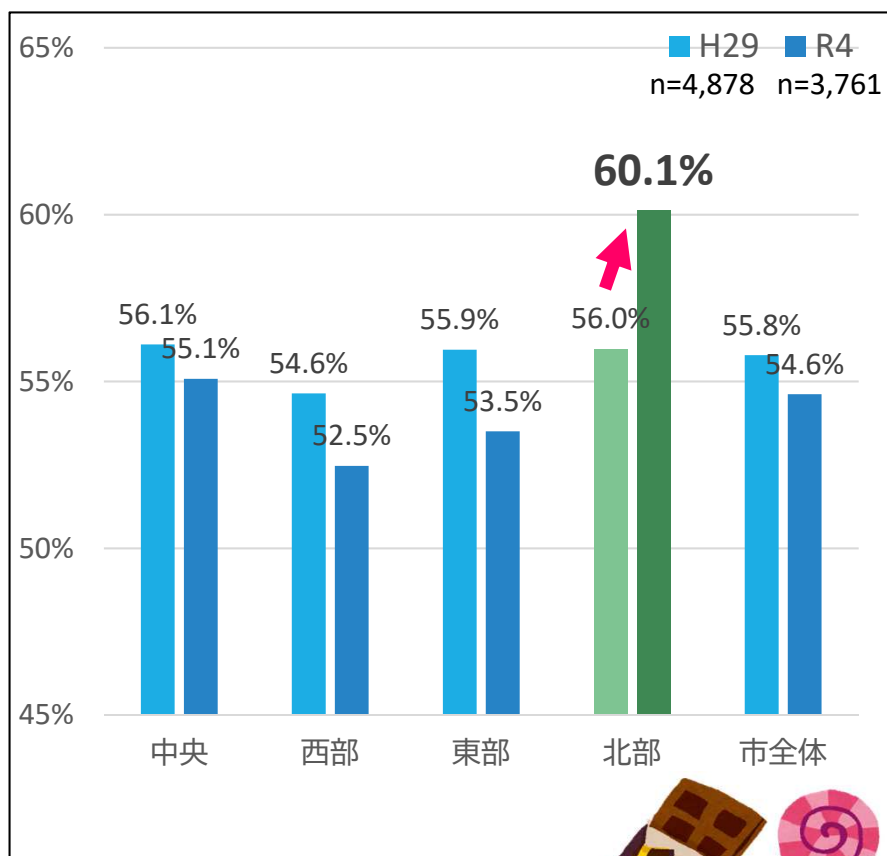
▶「むし歯・歯周病予防」だけでなく、将来の生活習慣病予防も含めた保健指導の可能性を検討



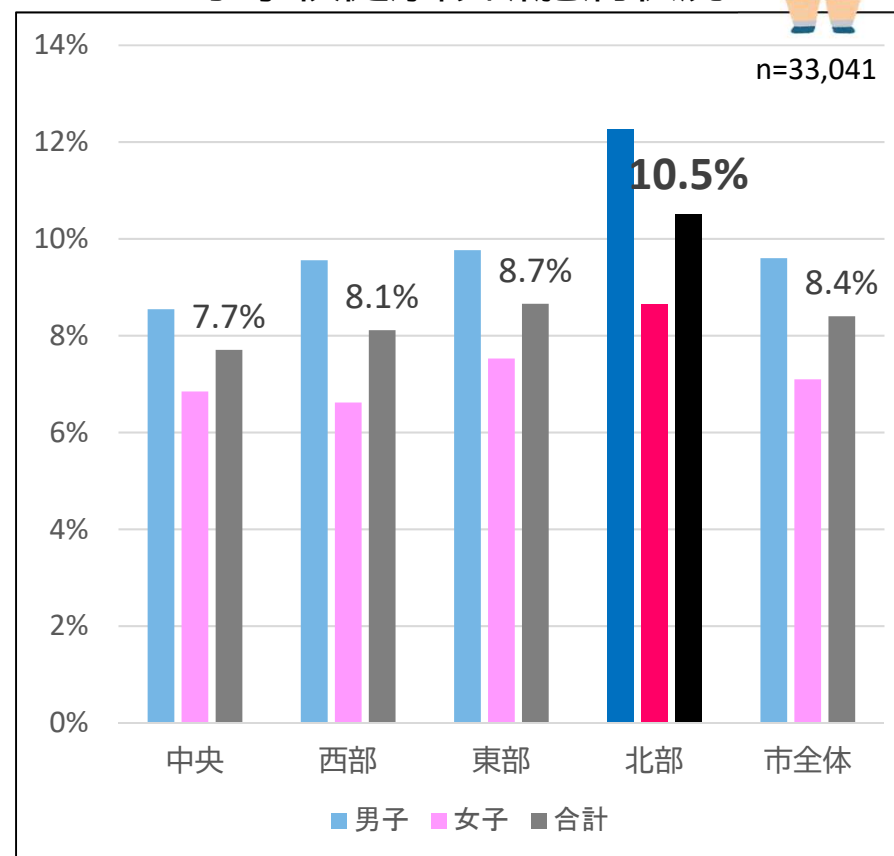
北部地区について



保健センター別
3歳児アメチョコラムネ摂取状況



保健センター地区別
R4小学校健康診断肥満状況



※村田式による。軽度肥満・中等度肥満高度肥満の者を計上。

出生順位とむし歯有病者



令和4年度3歳児健診でのむし歯有病者206名のきょうだい関係を調査。
 (健診でむし歯のあった児が、「〇人きょうだいの第〇子」か)

中央 受診者1,378名 むし歯有病者58名 有病者率4.2%

	第1子	第2子	第3子	第4子
こども1人	12	—	—	—
こども2人	4	20	—	—
こども3人	0	3	10	—
こども4人	0	0	3	5
こども5人	0	1	0	0

西部 受診者709名 むし歯有病者28名 有病者率3.9%

	第1子	第2子	第3子	第4子
こども1人	9	—	—	—
こども2人	4	7	—	—
こども3人	2	1	4	—
こども4人	0	0	0	1
こども5人	0	0	0	0

東部 受診者1,256名 むし歯有病者86名 有病者率6.8%

	第1子	第2子	第3子	第4子
こども1人	8	—	—	—
こども2人	12	32	—	—
こども3人	0	7	22	—
こども4人	0	0	1	4
こども5人	0	0	0	0

北部 受診者414名 むし歯有病者34名 有病者率8.2%

	第1子	第2子	第3子	第4子
こども1人	7	—	—	—
こども2人	9	4	—	—
こども3人	4	2	5	—
こども4人	0	1	1	1
こども5人	0	0	0	0

1. むし歯・歯周病予防

⑤ 進行した歯周炎を有する人の割合の減少に向けた取り組み《中長期的な取り組み》

成人歯科健康診査及び妊婦歯科健康診査の受診率の向上

★受診率向上に向けての新たな取り組み★

スマホ世代へのアプローチ！

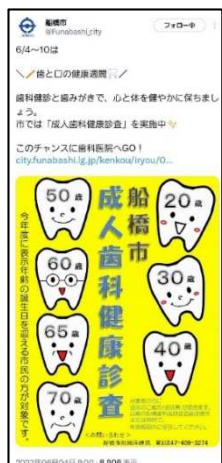
令和4年度より、「いい歯の日」に合わせて、Twitterを利用して健診受診を促す（成人歯科）
協力歯科医療機関のホームページに掲載している歯科医院情報を充実させる（成人・妊婦）

▶成人歯科健康診査

R3年度 6.6%
R4年度 6.4% 0.2%↓

▶妊婦歯科健康診査

R3年度 31.1%
R4年度 29.1% 2.0%↓



【取り組み内容】

- ▶船橋市公式X(旧Twitter)で成人歯科健診受診についてツイート
R4.11.8 いい歯の日
R5. 6. 4 歯と口の健康週間
- ▶ふなばしMOREベジ協力店の飲食店に、成人歯科健診のポスター掲示を依頼
- ▶協力歯科医療機関のホームページに掲載している電話番号を市外局番より掲載
- ▶成人歯科健診の受診票に有効期間延長についての一文を追加
- ▶成人歯科健診発送封筒の工夫
- ▶妊婦歯科健診周知ポスターの修正
- ▶船橋市内の産婦人科医へ歯周病のリスクについて情報提供依頼

1. むし歯・歯周病予防

【今後の取り組み】

1. 全市立小学校全学年でのフッ化物洗口事業再開

- ▶ 市民や学校関係者等にフッ化物について正しい知識を発信していく
 - ・ PTAと協働して、学校関係者や保護者にフッ化物についての情報提供を行う

2. 永久歯列に生え変わる学齢期の健康教育 《中長期的な取り組み》

- ▶ 生活習慣病予防とからめた健康教育の検討
 - ・ 北部地区を中心に、乳幼児期から地区教育等でアプローチ
 - ・ 学校関係者と生活習慣病予防とからめた健康教育を検討

3. 進行した歯周炎を有する人の割合の減少に向けた取り組み 《中長期的な取り組み》

- ▶ 歯科受診のきっかけづくり
 - ・ R6年度より、3歳児健診における保護者の口腔内チェックを再開
- ▶ 若年層（20歳・30歳）の成人歯科健診受診率を上げる
 - ・ 送付する受診票の内容について検討する

2. 口腔機能維持向上

①乳幼児期、学齢期の口腔機能発達についての情報提供

母子保健事業等を活用した保護者向け展示・リーフレット配布、SNS利用の検討
栄養士と連携した乳幼児向けレシピの作成等
「食に関する指導」 学校栄養士との連携や情報交換

【取り組み内容】

- ▶保健福祉センターロビーでの展示、食育展に加えて、「3～6歳児・歯っぴいフッ化物塗布事業」開催時に、口腔機能についての展示を実施
- ▶「3～6歳児・歯っぴいフッ化物塗布事業」来所児に、「風車」の工作キット配布
- ▶地域保健課・保健センター栄養士と情報交換を実施



フッ化物洗口体験をした幼児の保護者
⇒30秒のぶくぶくうがいが難しい！



＜栄養士への「噛むこと」に関する相談内容＞

▶食育講座（9～11か月児）

ご飯を噛まない

詰め込む

誤嚥や窒息が心配

ぶーぶー音を鳴らす

手づかみ食べだと咀嚼しているがスプーンだと丸のみする

ストローでむせる 等



▶1歳6か月児健康診査（1歳7か月児）

肉魚が苦手

かじり取りが苦手

噛み切れず吐き出す

チュチュ食べをする

▶3歳児健康診査（3歳4か月児）

口を開けて食べる

口にためる

2. 口腔機能維持向上

②オーラルフレイルについて成人・高齢者向けに周知啓発を行う 《中長期的な取り組み》

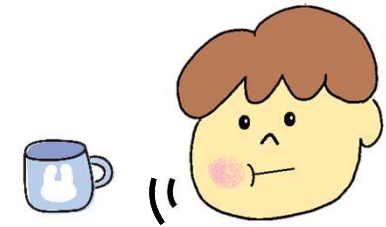
「女性のための健康講座『めざせ！姿勢美人』」にて、口腔体操や講話を開始
関係課及び地域組織と連携し、「通いの場」等での相談や講座の場を設ける
「オーラルフレイル」の言葉の認知度、理解度を上げる工夫
ショッピングモールなどの身近な場所での「健口くん」を活用した口腔機能測定会の開催を検討

【取り組み内容】

- ▶「めざせ！姿勢美人」・出前講座にてオーラルフレイル予防の講話を開始
- ▶健康づくり課「シルバーリハビリ体操」での歯科講話を実施
(R4年度実績 4公民館にて8回 114名)
- ▶保健福祉センター、食育展でオーラルフレイル予防の展示
- ▶成人歯科健康診査受診票に「オーラルフレイル」の啓発文を掲載

2. 口腔機能維持向上

【今後の取り組み】



1. 乳幼児期、学齢期の口腔機能発達についての情報提供

- ▶ 幼児健診の場で「ぶくぶくうがい」の啓発
- ▶ 地域保健課栄養士と啓発パンフレットの作成
- ▶ 9～11か月児対象「食育講座」にて「食べ方」についての講話を組み込む

2. オーラルフレイルについて成人・高齢者向けに周知啓発を行う 《中長期的な取り組み》

- ▶ 健康教育実施時に、「ぶくぶくうがい」の啓発
- ▶ 市民にフッ化物洗口の体験を実施する際に、オーラルフレイル予防についても啓発する

3. その他

▶災害対策

▶市民への啓発

- ・保健センター事業や健康教育の場での講話やリーフレット配布

▶職員内で情報共有

- ・避難所備蓄品の確認
- ・災害協定について確認



▶包括連携協定

▶花王グループカスタマーマーケティング株式会社と包括連携協定を締結(R5. 6. 20)

- ・市民向けセミナーを公共施設で実施
- ・健康増進セミナー(口腔ケアに関するものも含まれる) 今年度市内4施設で実施予定